

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC230	科目名	音楽療法総合演習	担当者名	棟方 ナナ子
授業の概要	さまざまな領域の音楽療法を演習を通して学ぶ。個人セッションと集団セッションの目的を理解する。また、音楽療法の個別性を理解する。				
科目の到達目標	・音楽療法セッションがアセスメント、計画立案、実施、モニタリングから成り立っていることを理解する ・音楽療法が個別性を重視して行われることを理解する				
DPの観点	①判断 ②専門知識・技能 ④協働力 ⑤コミュニケーション能力 ⑧社会性				
授業時間外学修 (予習・復習)	できる限り音楽を聴く機会を設ける。可能であれば音楽療法セッションの見学をすることが望ましい。配布資料の用語、技法について予習・復習を1時間程度すること。				
フィードバックの方法	課題レポート、課題試験の結果を返却する。				
単位認定の要件	課題レポート、課題試験、提出物、授業内活動等を総合的に評価する。				
評価の方法・割合 (%)	課題レポート50% 課題試験30% 提出物10% 授業内活動10%				
履修上の注意事項	音楽療法履修証明書対象科目 30分以上の遅刻は欠席とする。遅刻3回で欠席1回とする。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			「音楽療法とは」 音楽療法の定義と意義を理解する	②	コミュニケーションカード
2			「音楽療法と私」 音楽療法と自分自身の関わりを考える	②	コミュニケーションカード
3			「音楽療法とコミュニケーション」 音楽療法とコミュニケーションの関わりを理解する	②⑤	コミュニケーションカード
4			「領域別の音楽療法」(児童) 児童を対象とした音楽療法を理解する	②⑧	コミュニケーションカード
5			「領域別の音楽療法」(高齢者) 高齢者を対象とした音楽療法を理解する	②⑧	コミュニケーションカード
6			「領域別の音楽療法」(リハビリ) リハビリと音楽療法の関係を理解する	②⑧	コミュニケーションカード
7			「領域別の音楽療法」(症状別) 症状別に行う音楽療法を理解する	②⑧	コミュニケーションカード 課題レポート
8			「領域別の音楽療法」(障害別) 障害別に行う音楽療法を理解する	②⑧	コミュニケーションカード
9			「領域別の音楽療法」(リラクゼーション) リラクゼーションの音楽療法を理解する	②⑧	コミュニケーションカード
10			「音楽療法の倫理」 音楽療法実践時の倫理を理解する	①②	コミュニケーションカード
11			「ロールプレイ1」 音楽療法指導案の作成を行う	①②④⑧	コミュニケーションカード
12			「ロールプレイ2」 音楽療法指導案の実践を行う	①②④⑧	コミュニケーションカード
13			「ロールプレイ3」 音楽療法の評価を行う	①②④⑧	コミュニケーションカード
14			「これからの音楽療法」1 音楽療法の可能性を理解する	②⑧	コミュニケーションカード
15			「これからの音楽療法」2 音楽療法の役割・需要を理解する	②⑧	コミュニケーションカード 課題レポート
期末試験			試験		まとめと確認

使用テキスト	音楽療法の基礎 村井靖児 音楽之友社
参考文献 参考URL	音楽療法入門 栗林文雄訳 一麦出版社
備考	適宜資料配布

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	---

授業の自己評価	
---------	--